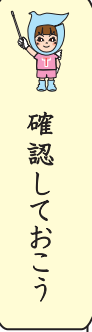


# 助詞 1

学習日 月 日 ( )



助詞：…付属語で活用のない語を助詞といいます。助詞のはたらきは、

語と語の関係を示したり、一定の意味を添えたりします。

助詞には四つの種類があります。

- ① 格助詞 かくじょし      ② 接続助詞 せつぞくじょし  
↓語と語との関係を示す
- ③ 副助詞 ふくじょし      ④ 終助詞 しゅうじょし  
↓意味をつけ加える

☆ 次の一線部が助詞なら○を、そうでなければ×をつけましょう。

- ① 赤ちゃんが笑う。 ( ) ○ ( )
- ② 図書館の本を借りる。 ( ) ○ ( )
- ③ すぐ鳥取を出発しよう。 ( ) × ( )
- ④ 浦富海岸は美しいなあ。 ( ) ○ ( )
- ⑤ 雪が降ってきた。 ( ) × ( )
- ⑥ このプロジェクトが成功するといいですね。 ( ) ○ ( )
- ⑦ 地図を見ながら進む道を決めた。 ( ) ○ ( )

◎助詞と助動詞の  
区別がつくかな？

どちらも付属語ですが、大きな違いは、  
助詞―活用がない  
助動詞―活用がある  
という点でしたね。

格助詞：…主として体言につきます。(例えば、が・の・をに・から など)

☆ 次の各文の格助詞に一線をつけましょう。

- ① 本を読む。
- ② 天気がよいので、公園に行く。
- ③ 私の夢は、指揮者になることだ。
- ④ 彼は、ロンドンで二年間暮らした。
- ⑤ 姉から妹に誕生日プレゼントが届いた。



接続助詞：…用言や助動詞につきます。上下をつなぐはたらきをします。

(例えば、が・ば・と・ので・から・けれど・ながら など)

☆ 次の各文の接続助詞に一線をつけましょう。

- ① 図鑑で調べたが、わからなかった。
- ② 小雨が降つてもも試合があります。
- ③ 雨が降ればは、運動会は中止だ。
- ④ 誕生日には少し早いけれど、姉から贈られてきた。
- ⑤ 彼は答えを知っているのに、教えてくれなかった。



## 助詞 2

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

助詞：…付属語で活用のない語を助詞といいます。助詞のはたらきは、

語と語の関係を示したり、一定の意味を添えたりします。

助詞には四つの種類があります。

① 格助詞 かくじょし ② 接続助詞 せつぞくじょし  
↓語と語との関係を示す③ 副助詞 ふくじょし ④ 終助詞 しゅうじょし  
↓意味をつけ加える

☆次の―線部の助詞の種類を、後ろの□から選びましょう。

- ① 今度こそ入選するように努力する。(ウ)
- ② 試合会場に一緒に行こうか。(エ)
- ③ 彼は、スケートもできるし、自転車競技もできる。(イ)
- ④ 米子鬼太郎空港を出発し、韓国に向かった。(ア)
- ⑤ 鳥取博物館のイベントに参加した。(ア)
- ⑥ 寒い冬が過ぎて、春が来た。(イ)

ア 格助詞 イ 接続助詞 ウ 副助詞 エ 終助詞

副助詞：…意味を付け加えたり、限定したりします。(例えば、は・も・こそ・さえ・まで・ばかり・くらい など)

☆次の各文の副助詞に―線をつけましょう。

- ① 今度こそ頑張ろうと思っている。
- ② ゴールまであと、一キロメートルとなった。
- ③ 一日五組だけの客をもてなすプランがある。
- ④ 仁川空港に今着いたばかりです。
- ⑤ エジプトに三週間ばかり滞在して、研究に取り組んだ。



終助詞：…文末につきますが、文節の切れ目につくこともあります。

(例えば、か・な・なあ・ぞ・とも・よ・ね・かしら など)

☆次の各文の終助詞に―線をつけましょう。

- ① サッカーの試合を見に行こうか。
- ② ゆっくり話してくださいね。
- ③ その発見は、本当かしら。
- ④ 明日の試合は何時に始まるの。
- ⑤ 今日はとても楽しかったな。



# 助詞 3

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

☆ 同じ助詞でもさまざまな働きがあります。例えば「が」は、格助詞、接続助詞になります。

どちらのはたらきをしているのか、文をよく読んで判断する必要があります。

風が吹く。 ↓ 格助詞  
少し寒いが、今日はがまんしよう。 ↓ 接続助詞

☆ 次の一線部と同じはたらきのあるものを、あとから選んで記号に○を

しましょう。

「に」は、動作の目的を表す格助詞だよ。

① 博物館に見学に行く。

ア 朝九時に集まりました。 イ 母にプレゼントをする。

ウ 教科書を取りに行く。 エ ショパンの音楽に聴きいる。

② 弟とテレビを見る。

ア 母と約束をする。 イ 氷が水となる。

ウ パンと牛乳を買う。 エ 「おはよう」と答える。

③ 大きな声で話してください。

ア 図書館で本を読んでいる。 イ 大雪で試合が中止になる。

ウ 徒歩で行くことになりそうだ。 エ 一日で書き上げる。

④ 早く行かないと、遅れるよ。

ア あなたと一緒に行く。

イ どうなろうと、私は知らない。

ウ 空港に着くと、みんなが来ていた。

エ このままだと、危険だ。

⑤ 自分のことばかり話す。

ア 牛乳ばかり飲んでる。

イ 今鳥取に着いたばかりだ。

ウ 一週間ばかり海外に出かける。

⑥ 旅行の写真はきれいに撮れましたか。

ア 明日は、試合が行われるでしょうか。

イ どうしてそんなことができましょうか。

ウ 一緒にサッカーの試合を見に行こうか。

⑦ あなたの歌声は、すばらしいね。

ア 質問はありませんね。

イ 十一時に学校に行けばいいのね。

ウ 浦富海岸は美しい海岸だね。

## 鳥取の文学散歩

鳥取県東伯郡三朝町が登場する推理小説を紹介します。

### 「Dの複合」

松本清張

(一九〇九〜一九九二)

福岡県小倉市(現在の北九州市小倉北区)生まれ。

一九五三年、『或る「小倉日記」伝』で芥川賞受賞。

一九五八年の「点と線」は推理小説界に「社会派」の新風を生む。一九六一年の「砂の器」には、鳥根島の亀嵩が出てくることで知られている。

「Dの複合」では、主人公が事件の真相を追って行く中で、事件にかかわった人物の出身地として三朝町が登場します。また、松本清張の父親は日南町の出身です。



## 助動詞 1

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

助動詞とは、付属語で活用があります。主に体言や用言について、いろいろな意味を付け加えたり、話し手の判断を表したりします。助動詞は、文末にくることも多く、また、文の意味を決定する大切な役割を果たしています。

○それは、私の本だ。(断定) ○私は、旅行に行きたい。(希望)  
○彼は、イギリスに留学したい ようだ。 た。

(希望 推定 過去)

※ 助動詞がいくつも重ねられることもあります。

☆ 次の各文の助動詞に―線をつけましょう。

- ① この問題はゆっくり考えよう。
- ② 幼い頃のことが思い出される。
- ③ この仕事は、私がしよう。
- ④ もうすぐ二十世紀梨が収穫されるらしい。
- ⑤ 新しい先生のことは誰も知らないようだった。

☆ 次の―線部の助動詞の意味をあとから選びなさい。

- ① 昨日は誕生日だった。( ) **過去** ( )
- ② 何日も雨が降らない。( ) **否定** ( )
- ③ 夏休みには、旅行に行きたい。( ) **希望** ( )
- ④ 妹が姉に本を読ませる。( ) **使役** ( )
- ⑤ 遅れていた飛行機が今到着しました。( ) **完了** ( )
- ⑥ 校長先生が話される。( ) **尊敬** ( )
- ⑦ 彼女が、新チームの部長だ。( ) **断定** ( )
- ⑧ もうすぐ、彼女の演技が始まるだろう。( ) **推量** ( )
- ⑨ 図書館で一緒に勉強をしてきます。( ) **丁寧** ( )
- ⑩ 昼食を食べたばかりだが、ケーキは食べられる。( ) **可能** ( )

可能 尊敬 使役 希望 否定  
丁寧 断定 過去 完了 推量

同じ助動詞でも文によって、意味が違いますね。助動詞とその意味はまとめておきましょう。



## 助動詞 2

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

この単語の品詞は、何だろうかと迷ってしまうことがあります。見分けることが難しい単語については、**違い**を整理しておくといいでしょう。

例えば、「ない」の場合

☆助動詞 文節に切れない。「ぬ」に置き換えても意味がわかる。( )

今年は、雨が降らない。↓今年も雨が降らぬ。↓○

☆形容詞 文節に切れる。「ぬ」に置き換えると意味がわからない。( )

今年もオリンピックがない。↓今年もオリンピックがぬ。↓×

(他に「補助形容詞」・「形容詞の一部」がありますが、省略します。)

問題1 次の一線部の語が断定の助動詞であれば○を、そうでなければ、

×をつけましょう。

- ① 東京は晴れて、鳥取は雪だ。( ) ○
- ② 今日のはどかで、穏やかだ。( ) ×
- ③ この梨は、二十世紀梨だ。( ) ○
- ④ 魚市場の魚は新鮮だ。( ) ×

問題2 次の一線部の語の意味や働きを□から選びましょう。

(1)「れる・られる」

- ① 故郷のことが思い出される。( ) 自発
- ② リレーメンバーに選ばれる。( ) 受け身
- ③ 社長がお話をされる。( ) 尊敬
- ④ このキノコは食べられる。( ) 可能

自発 可能 尊敬 受け身

(2)「ようだ」

- ① 今月中に新しい駅舎ができるようだ。( ) 推定
- ② まるで北極のような寒さだ。( ) 例示
- ③ 海のように大きな湖だ。( ) たとえ

例示 推定 たとえ

(3)「そうだ」

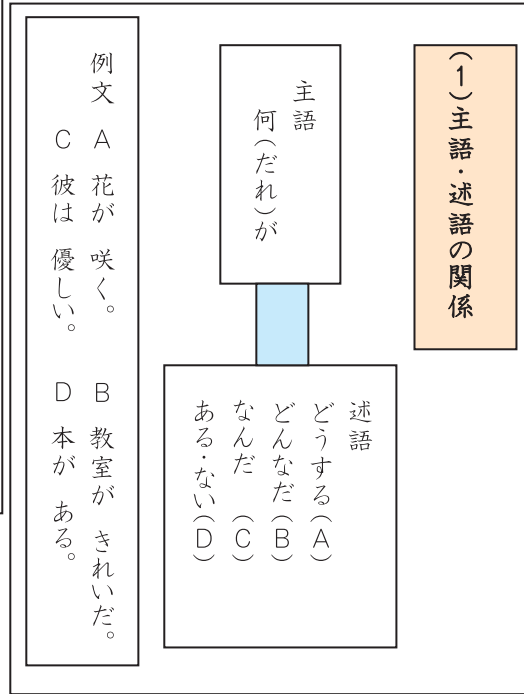
- ① 飛行機は、台風のために欠航するそうだ。( ) 伝聞
- ② 子どもが楽しそうに遊んでいる。( ) 様態
- ③ 午後には雪が降りそうだ。( ) 様態

伝聞 様態



「何が」などにあたる文節を**主語**、「どうする」などにあたる文節を**述語**と言います。  
 (主語と述語を見つけられることができるかな?)

(1) 主語・述語の関係



☆ 次の各文の主語に―線、述語に〃線をつけましょう。

- ① 夕日がきれいだ。
- ② 私が図書委員をします。
- ③ 私は、バスケットボール部に入部する。
- ④ 鳥取県にはたくさん温泉地がある。
- ⑤ 尾崎翠はとても有名な作家だ。
- ⑥ 赤ちゃんが大きな声で笑う。
- ⑦ 私は白兔海岸で、桜貝を見つけた。
- ⑧ 彼女は、アジア大会で金メダルを獲得した。

四つの形を覚えて

おくといいよ。



(2) 修飾・被修飾の関係

(修飾語)(被修飾語)  
美しい 花が 咲く。  
どのような―何が  
「美しい」は「花が」どんな花かをくわしく説明している。このように他の文節の内容をくわしくしている文節を**修飾語**といい、内容をくわしくされている文節を**被修飾語**といいます。

☆ 次の―線部が修飾している文節に、〃線をつけましょう。

- ① 青いバラが咲いている。
- ② 今年の夏は、とても暑かった。
- ③ 書道を学んだので正しい字が書ける。
- ④ 書道を学んだので正しく字が書ける。
- ⑤ ごろごろと雷が鳴った。
- ⑥ 急に、電車が止まった。

修飾語のうち、「何」にあたる部分を修飾するものを**連体修飾語**、「どうする」にあたる部分を修飾するものを**連用修飾語**といいます。  
 ①〜③が連体修飾語、④〜⑥が連用修飾語の問題です。

【漢字に親しもう】

矢印の方向に読むと、漢字二字の熟語ができます。例にならって、□に入る適切な漢字を書きましょう。

